

令和6年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	公務員としての倫理観を高めるとともに、服務規律について理解を深め、不祥事を防止する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施（6月） 神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針をもとに、服務について理解を深めることができた。（4月） 綱紀保持の通知を確実に周知し、注意喚起を行い意識の向上を図ることができた。（通年）
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	同僚性の向上をめざし、不祥事を未然に防ぐ基盤をつくる。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施。（3月）風通しの良い職場づくりというテーマで外部講師による不祥事防止研修を実施した（7月）グループワークを通して同僚性の向上が図れた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラについて理解を深め、児童・生徒の人権を尊重した適切なかかわりを徹底する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施し、職員の意識向上に努めた。（6月） わいせつ・セクハラに関する理解を深め、適切なかかわりができている。
体罰、不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導について理解し、児童・生徒の人権を尊重した適切なかかわりの充実を図る。	ミニ人権研修を行い、さん付け呼称について全職員で標語を考えた。できた標語はTeamsの掲示板で週ごとに掲載し、さん付け呼称を呼びかけた。 小中学部長より【9月ミニ研修会】を実施、「体罰防止をガイドライン」等を活用する。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	児童・生徒の学習、進路選択と決定に影響する重要な業務であることを自覚し、適切な処理を行う。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施。（12月） 高B学部長が【10月ミニ研修会】において、個人情報の持ち出しに関する研修を実施しルールの再確認を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の紛失・誤廃棄、誤配付・誤送信などの事案を未然に防止する。	情報セキュリティ研修を実施する。（4月） 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施する。（5月） 高A学部長が【10月ミニ研修会】を実施。個人情報、情報機器の利用・持出についてルールを周知徹底し適切な運用を再確認できた。 著作権に関する研修も行い、理解を深めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守および交通事故防止の意識を高める。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施した。（12月） 長期休業中の事故防止について注意喚起を行い、大きな事故はなかった。（4月、7月、12月）
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	施設設備の定期点検、管理物品の定期点検を確実に行う。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施する。（11月） 物品管理簿と点検計画を検証し、適切な物品管理ができている。

財務事務等の適正執行	私費会計の適切な執行について、適切な管理を徹底し、不祥事を未然に防止する。	私費会計基準等を活用した研修を実施した。（4月） 私費会計の執行について、年度途中と年度末に点検を行い、適切な執行に努めているが、監査で何点か指摘を受けた。（10月、2月） 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施した。（11月）
------------	---------------------------------------	---

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

【達成状況】

令和6年度は、全職員が計画的な研修や啓発活動を通じて、服務規律の徹底やハラスメント防止、児童生徒の人権尊重、個人情報管理等について理解を深め、不祥事防止に向けた意識向上が図られた。重大な不祥事は発生せず、一定の成果が得られた。一方、私費会計においては監査により改善すべき点が明らかになった。また、学校評価アンケートで保護者と教職員の間で、人権意識に対する温度差があることが分かった。その差を縮めていきたい。

【令和7年度の課題】

- ① 私費会計・個人情報管理における点検・確認体制の強化
- ② 実践的な研修（事例検討・ケーススタディ）による服務規律・ハラスメント防止の徹底
- ③ 繼続的な啓発による組織全体の意識向上
- ④ 児童・生徒の人権を尊重した適切なかかわりの徹底